

葛工!! ピンチ



令和元年 8月6日 発行

★皆さまのスマホのディスプレイに、親指と人差し指を寄せ、二本の指で押し広げるように、画面の一部を拡大することを、**ピンチアウト (Pinchout)** と呼びます。そこで葛工の最近の話題やトリビアを、ピンチアウトするようにお伝えしたい、そんな思いで「葛工!!ピンチ」と名付けました。「葛工がピンチ (危機)」なわけではありませんから、勘違いなさいませぬよう、ご用心ご用心。

a pinch of esprit



さる7月25日(木)から7月27日(土)まで、五反田にあるTOC展示会場で開催された「ものづくり 匠の技の祭典2019」に、本校デュアルシステム科の一年生が、イベントのお手伝いで出張しました。参加したのは同じ江戸川区にある、株式会社西川精機製作所が出展したブースです。ここではミニアーチェリーの製作体験、ゴム鉄砲の製作体験、ロボット化石の製作体験、カヌーのシミュレーション(シンクロ・ライド・シミュレーター)試乗体験などがおこなわれ、会場を訪れた小学生たちを相手に、デュアル科の生徒たちが活躍しました。学校外でいろいろな人々に接して学ぶ、デュアルシステム科の勉強にふさわしい三日間だったと言えるでしょう。西川精機製作所は「創りたいを形にできる町工場」をモットーに掲げる、金属加工業の会社ですが、本業と同じくらい、地域の子供たちに「ものづくりの魅力」を伝えることを使命にしています。こういう地元企業に支えられ、葛西工業は成り立っています。



左は車椅子に取り付けるボウリング投球機。これさえあれば、介助するひと、されるひとみんな同じようにボウリングを楽しむことができる。右は純国産アーチェリー弓具の復活を目指して、江戸川区の中小企業5社が結集して、新しく開発した弓具です。



こちらがシンクロ・ライド・シミュレーター！



ものづくりの魅力は、伝わったかな？



これがうわさのRobokaseki。化石をロボットにして泳がせています。これを開発したのは、AFK研究所合同会社。西川精機製作所さんとは、ものづくりネットワークでつながっています。